

平成 28 年度質問紙調査による結果（猪名川町内中学校）

平成 28 年 11 月

【調査の主旨】

子どもたちの学力を左右するのは、単に学校の授業だけにとどまらず、学校や家庭での過ごし方など日常生活や自尊感情等が大きく影響すると考えられます。日常の生活実態をアンケート調査して、規律ある生活、また自分をコントロールできる生活ができるように、普段の生活を見直すよう調査しました。

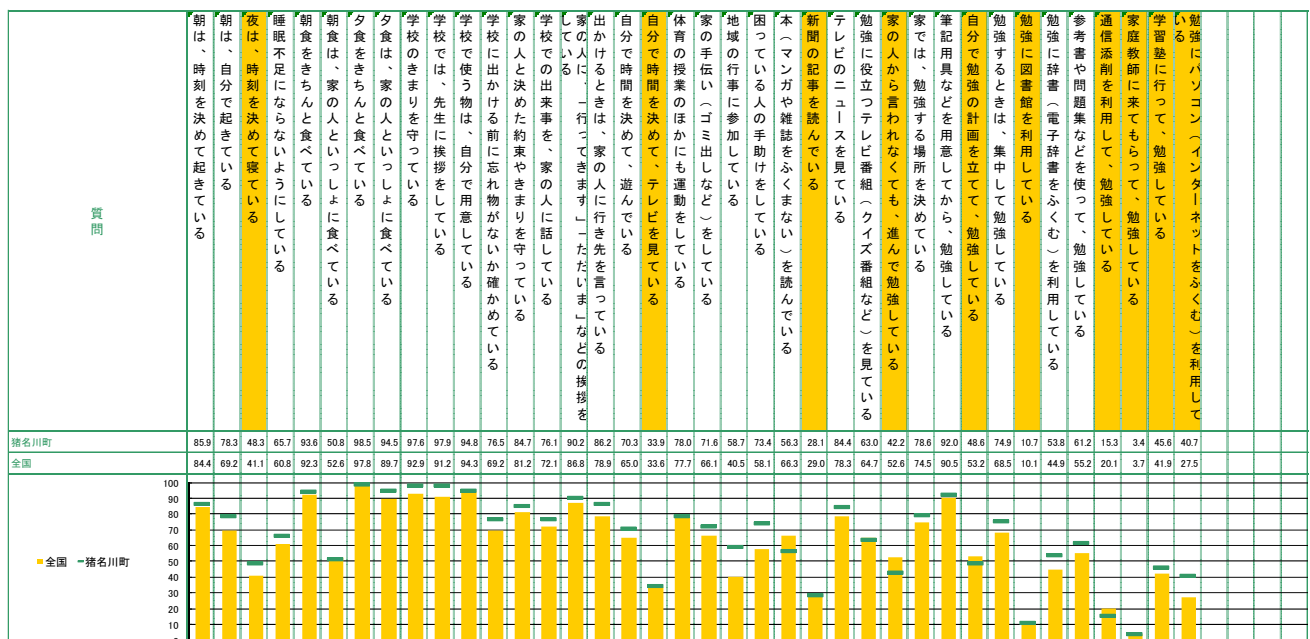
■日常生活における基本質問の全国比較

【標準学力調査対応】
生活行動・学習活動調査

中学校2年
生活行動

学年・基本質問回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



○町内の中学校2年生の生徒の日常生活は、おおむね良好な状況にあります。肯定的な回答は高い水準にあり、普段の生活に乱れは見られません。80%以上の肯定率で、全国比率から見ても高い肯定率にあるのは、下記の項目です。

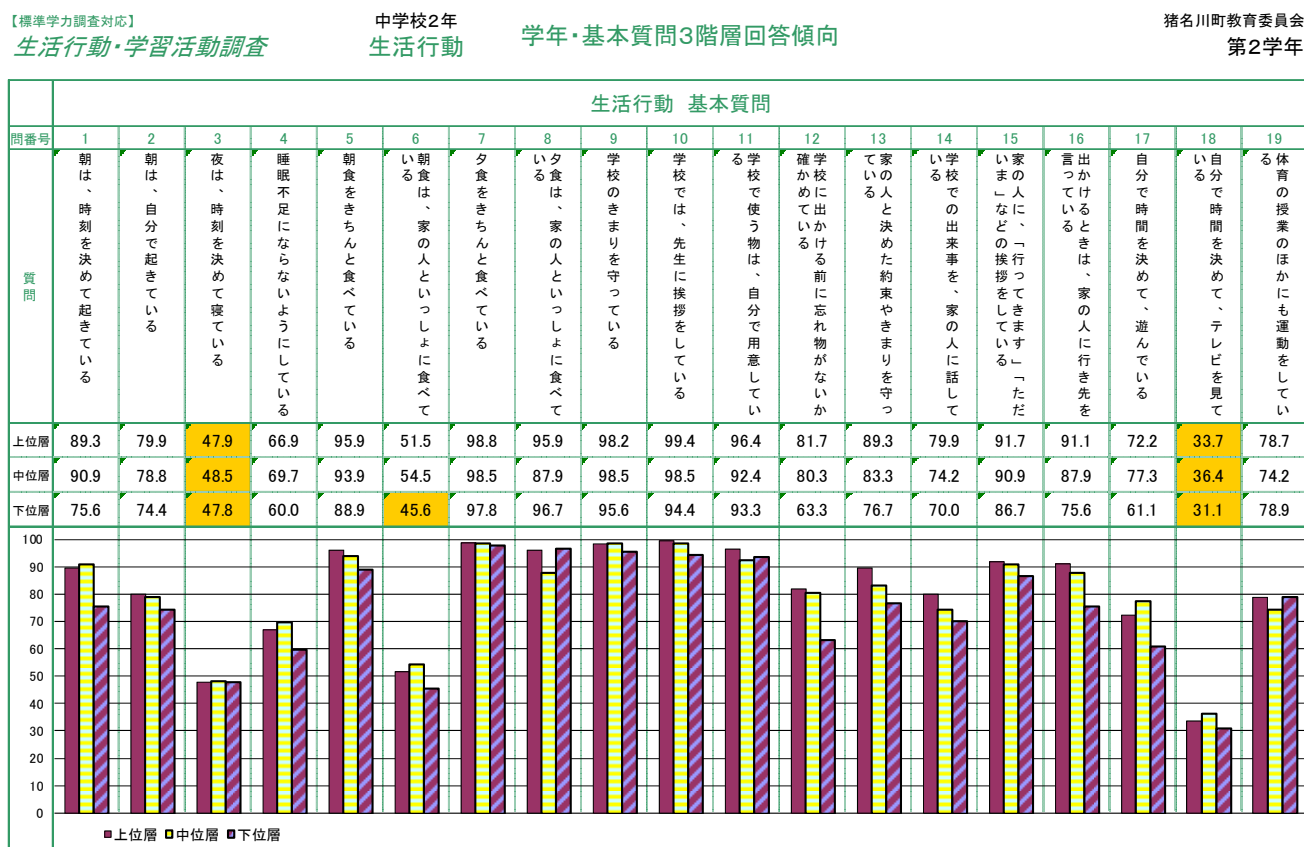
- ・朝は時刻を決めて起きている＝85.9%
- ・朝食をきちんと食べている＝93.6%
- ・夕食をきちんと食べている＝98.5%
- ・夕食は、家の人といっしょに食べている＝94.5%
- ・学校のきまりを守っている＝97.6% 全国平均より規範意識が高い。
- ・学校では先生に挨拶をしている＝97.9% 全国平均よりかなり高く挨拶の習慣は良好。
- ・学校で使う物は、自分で用意している＝94.8%
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝84.7%
- ・家の人に「行ってきます」「ただいま」などの挨拶をしている＝90.2%
- ・出かけるときは、家の人に行き先を言っている＝86.2%
- ・テレビのニュースを見ている＝84.4%

- ・筆記用具など用意してから勉強している＝92.0% 勉強への心構えがある。
- 肯定率が低く、また全国的な比率から見て改善すべき項目もあります。
- ・朝食は、家の人といっしょに食べている＝50.8% 昨年 43.6%より改善されてきている。
- ・本（マンガや雑誌をふくまない）を読んでいる＝56.3% 全国学力調査 66.3%
- ・新聞の記事を読んでいる＝28.1% 昨年 25.1%より改善されてきているがまだ全国より若干低い。
- ・家の人から言われなくても、進んで勉強している＝42.2% 昨年 51.0%より低い。
- ・自分で勉強の計画を立てて、勉強している＝48.6%
- ・通信添削を利用して、勉強している＝15.3%

☆夕食は家の人と一緒に食べたり、家の人と決めた約束やきまりを守ったり、家の人に「行ってきます」「ただいま」など挨拶をしたりするなど、全国平均から見ても、家族関係は非常に良好です。また、普段の家庭での生活態度や学校での過ごし方も規律ある行動ができており、喜ばしい状況にあります。

生活行動と学力調査のクロス分析

○生活行動に関する質問は「学力調査の結果が良い生徒ほど、自分をコントロールする行動や自分を高めようとする行動に対して肯定的である」との仮説に基づいています。肯定者の正答率と否定者の正答率の比較から、バラツキはあるものの、概して肯定率の高い生徒の正答率が高くなっています。この視点を基に調査結果を見てください。



○学力調査での上位層と下位層の差が10%以上の質問項目は下記のようにになりました。

- ・朝は、時刻を決めて起きている＝上位層 89.3%と下位層より 13.8ポイント高い

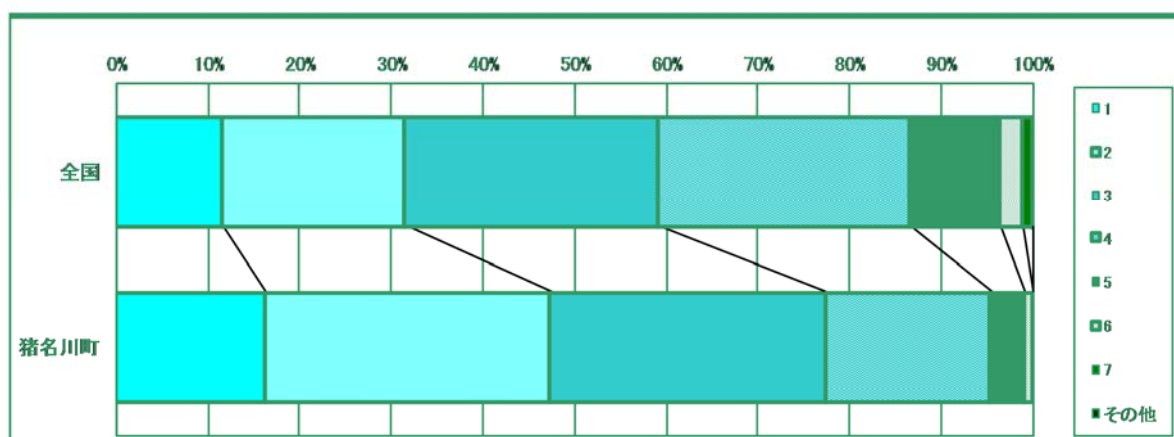
- ・学校に出かける前に忘れ物がないか確かめている＝上位層 81.7%と下位層より 18.3ポイント高い。
- ・家の人と決めた約束やきまりを守っている＝上位層 89.3%と下位層より 12.7ポイント高い。
- ・学校での出来事を、家の人に話をしている＝上位層 91.1%と下位層より 15.6ポイント高い
- ・自分で時間を決めて、遊んでいる＝上位層 72.2%と下位層より 11.1ポイント高い

☆「夕食は、家の人といっしょに食べている」や、「体育の授業のほかにも運動をしている」は、下位層の方が若干高い傾向にある。規範意識を持っている生徒の方が学力が高い傾向にありますが、ほとんどの質問項目に大きな乖離はなく、猪名川町の生徒は、学力に関わらず規律ある日常生活を送っていることがうかがえます。

■発展質問回答状況

学校に行く日は、朝、何時ごろに起きますか

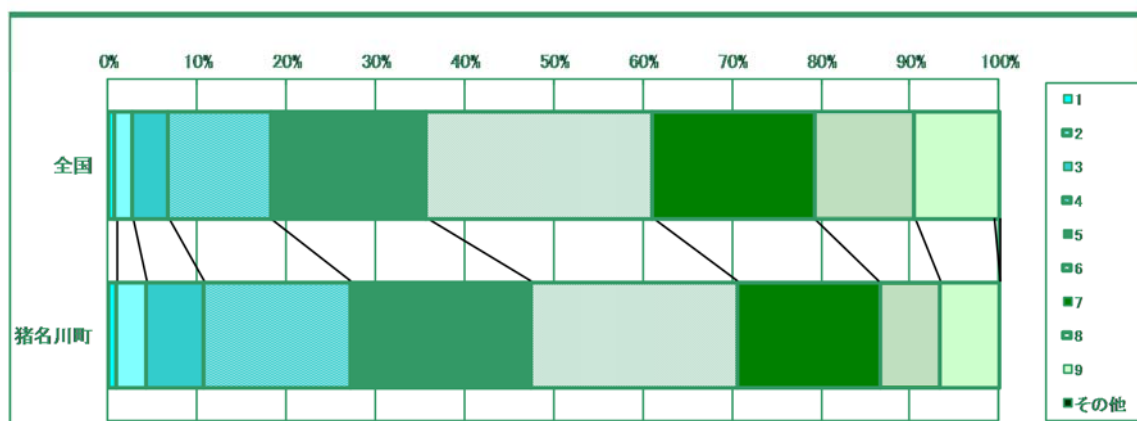
	1 午前6時より前	2 6時ごろ	3 6時30分ごろ	4 7時ごろ	5 7時30分ごろ	6 8時ごろ	7 午前8時より後	その他
全国	11.6	20.0	27.6	27.4	9.9	2.5	0.6	0.5
猪名川町	16.2	31.2	30.0	18.0	3.7	0.9	0.0	0.0



○ほとんどの生徒が7時までに起床し、6時頃が多くなっています。全国平均より早起きの傾向があり、良好な状況です。

学校に行く日は、夜、何時ごろに寝ますか

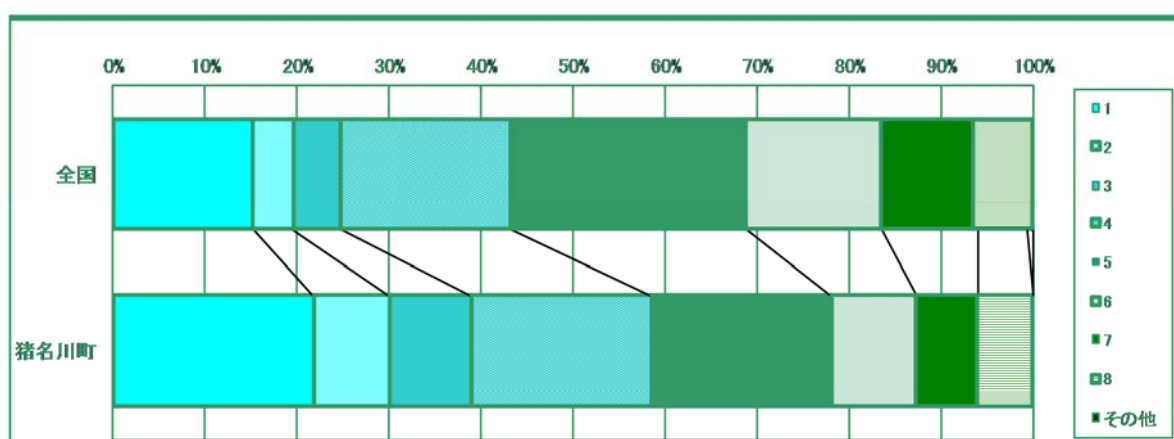
	1 午後9時より前	2 9時ごろ	3 9時30分ごろ	4 10時ごろ	5 10時30分ごろ	6 11時ごろ	7 午後11時30分ごろ	8 午前0時ごろ	9 午前0時より後	その他
全国	0.6	2.2	3.9	11.5	17.5	25.3	18.2	11.2	9.1	0.6
猪名川町	0.9	3.4	6.4	16.5	20.2	23.2	15.9	6.7	6.7	0.0



○10時半～11時ごろに就寝する生徒が、43.4%（昨年47.0%）と最も多くなっています。ほとんどの生徒は11時半頃までに寝る習慣があり、良好な状況にあります。全国より早寝の傾向にあります。

学校に行く日は、学校の授業時間以外に、1日にどのくらい勉強をしますか

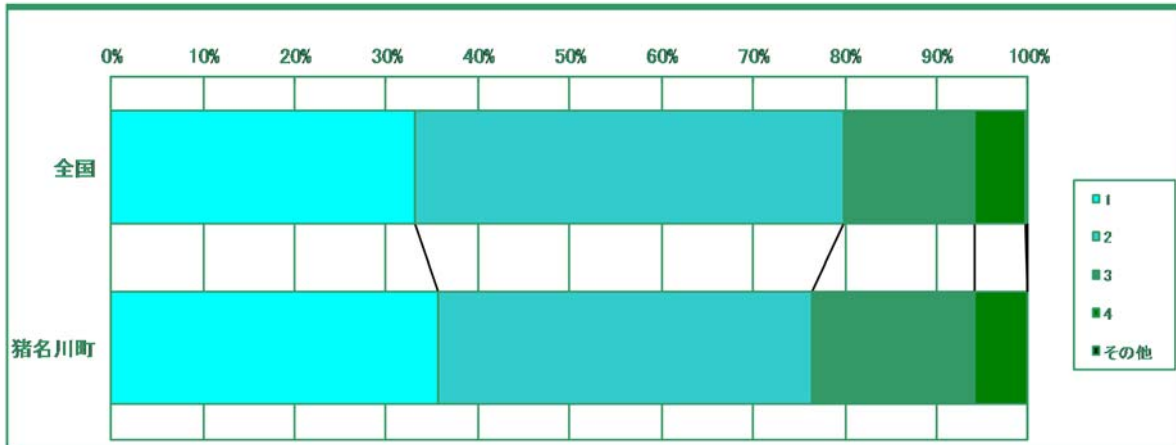
	1 ほとんどしない	2 10分くらい	3 20分くらい	4 30分くらい	5 1時間くらい	6 1時間30分くらい	7 2時間くらい	8 2時間より長い	その他
全国	15.2	4.3	5.3	18.5	25.6	14.7	9.9	5.9	0.7
猪名川町	21.7	8.3	8.9	19.6	19.6	9.2	6.7	6.1	0.0



○「ほとんどしない」が21.7%（昨年21.3%）と、全国よりも多い傾向にあります。家庭学習の習慣をつけることが課題です。

学校が好きである

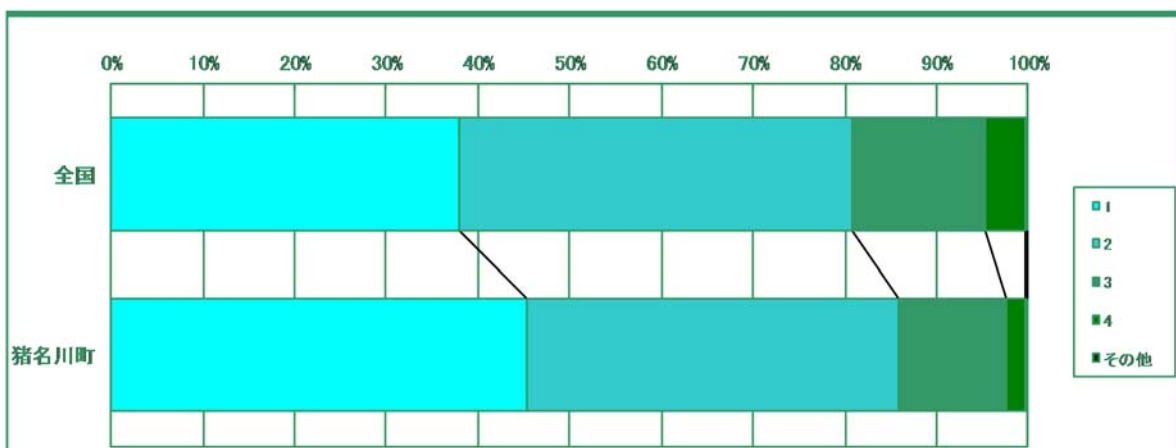
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	33.2	46.7	14.3	5.6	0.2	
猪名川町	35.8	40.7	17.7	5.8	0.0	



○「学校が好き」と答えた生徒が、76.5%（昨年 80.3%）と全国平均 79.9%を下回り、課題があります。

自分が住んでいる地域が好きである

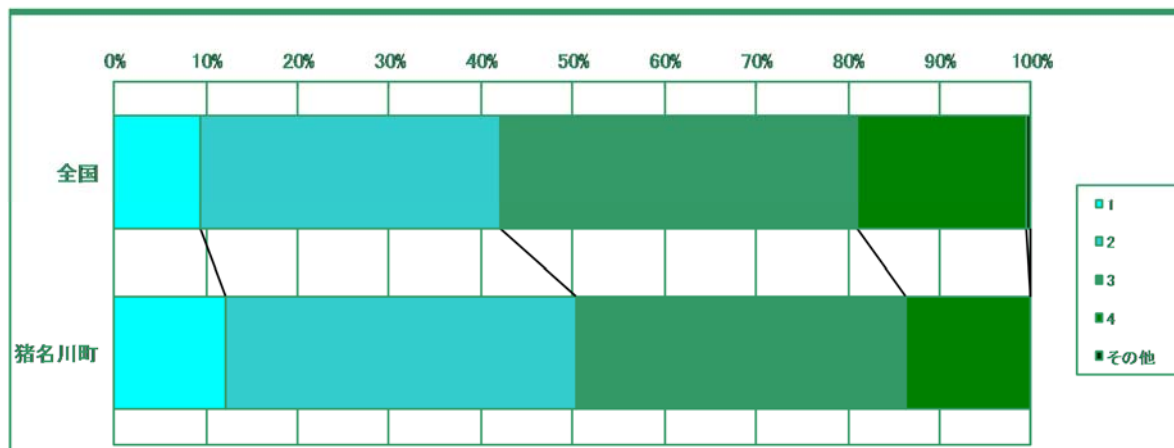
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	37.9	42.8	14.5	4.4	0.3	
猪名川町	45.3	40.7	11.6	2.1	0.3	



○「猪名川町が好き」と答えている生徒が、86.0%と多く、全国平均 80.7%を大幅に上回っています。地域全体で子どもたちを育てている環境が想像され、非常に喜ばしい状況です。「猪名川町が非常に好き（とてもあてはまる）」が 45.3%（昨年 49.6%）と半数近くになっており、郷土愛は全国平均と比べて非常に強くなっています。

自分のことが好きである

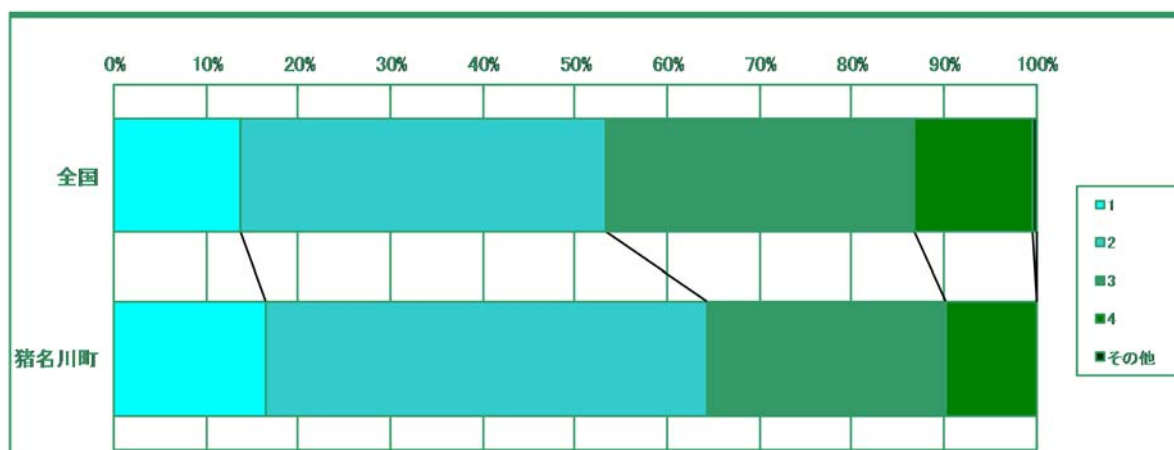
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	9.4	32.6	39.0	18.5	0.5	
猪名川町	12.2	38.2	35.8	13.8	0.0	



○「自分のことが好き」と思っている生徒は、50.4%（昨年 49.8%）と全国平均 42.0%を大幅に上回っていて良い傾向にあります。

自分には、良いところがあると思う

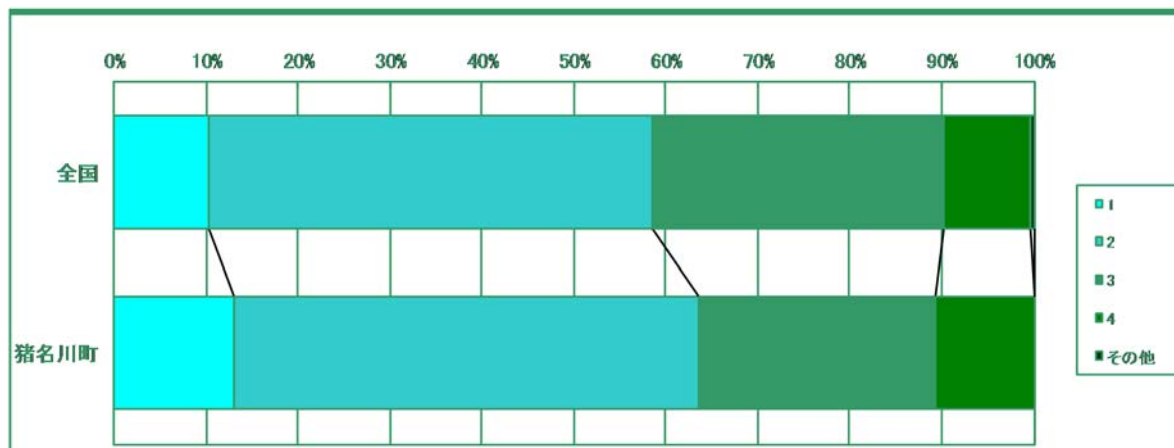
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	13.8	39.6	33.5	12.8	0.3	
猪名川町	16.5	47.7	26.0	9.8	0.0	



○「自分には良いところがある」と答えた生徒が、64.2%（昨年 61.6%）と、全国平均より非常に高くなっています。「自分のことを好き」の回答状況と同様に、自己肯定感の高い傾向にあります。

自分は、友だちから認められていると思う

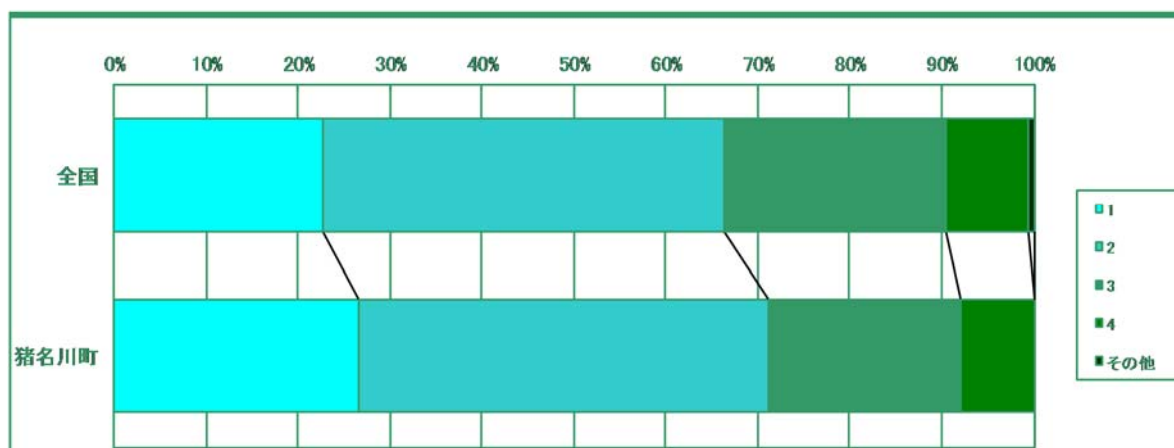
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	10.4	48.2	31.6	9.4	0.4	
猪名川町	13.1	50.5	25.7	10.7	0.0	



○友だちから認められているという自己認識は、63.4%（昨年 70.1%）と高く、非常に良い傾向にあります。学級経営上も「認め」「認められる」関係は大切に、学級適応力は良好です。

自分は、家の人から認められていると思う

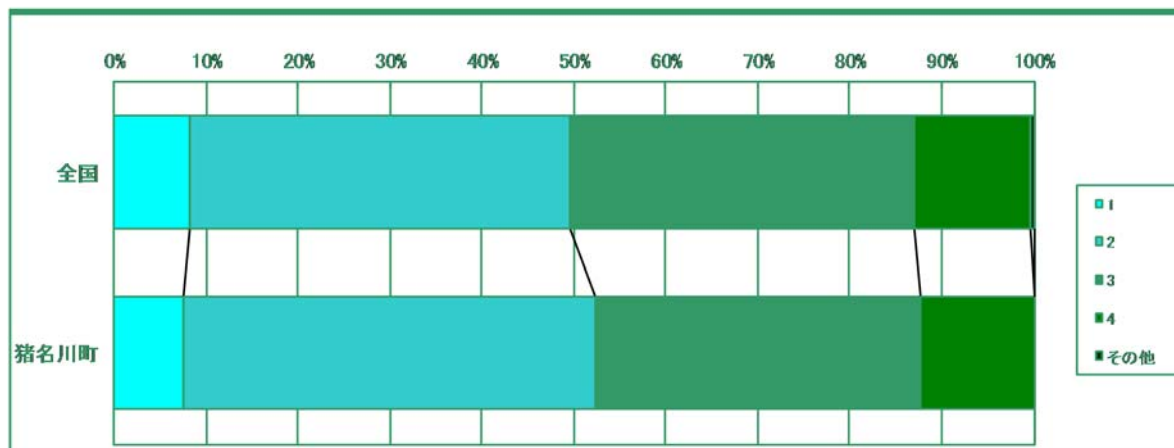
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	22.7	43.7	24.0	9.1	0.5	
猪名川町	26.6	44.6	20.8	8.0	0.0	



○家の人から認められているという自己認識は、71.2%（昨年 74.7%）で、全国平均より 4.8 ポイント高くなっています。多くの生徒は、家庭での存在を大きく感じており、良好な状況にあります。

自分は、先生から認められていると思う

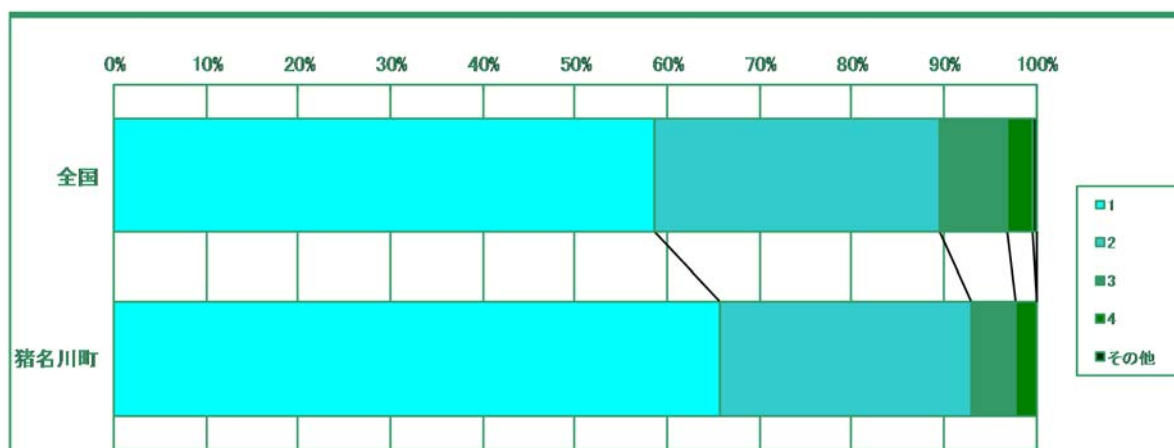
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	8.2	41.4	37.3	12.7	0.4
猪名川町	7.6	44.6	35.5	12.2	0.0



○先生から認められているという自己認識は、52.2%（昨年 55.0%）で、全国平均を上回っています。
先生との関係が良好であることがうかがえます。

自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う

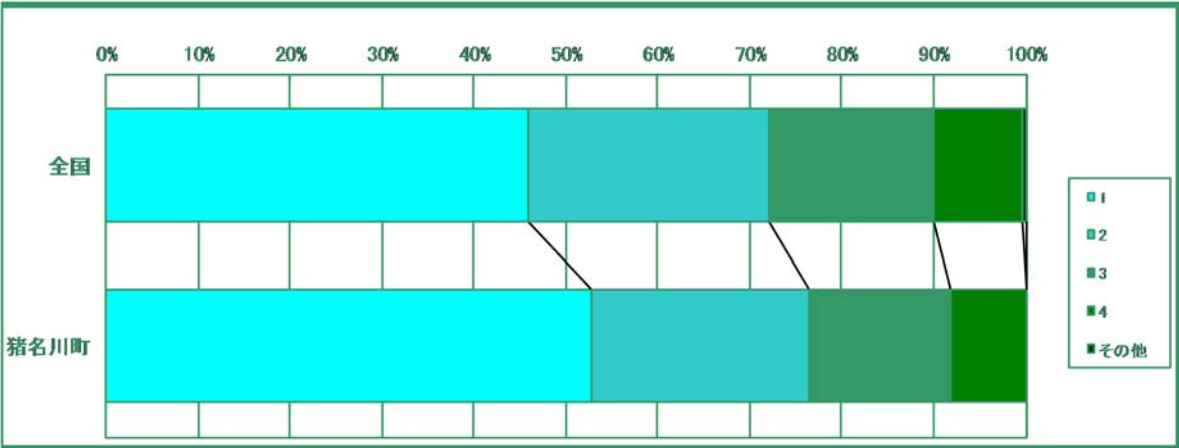
	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他
全国	58.7	30.8	7.4	2.6	0.4
猪名川町	65.7	27.2	4.9	2.1	0.0



○ほとんどの生徒が、自分の力をできる限り伸ばしたいと思っていて、向上心が非常に高く、良好な状況にあります。

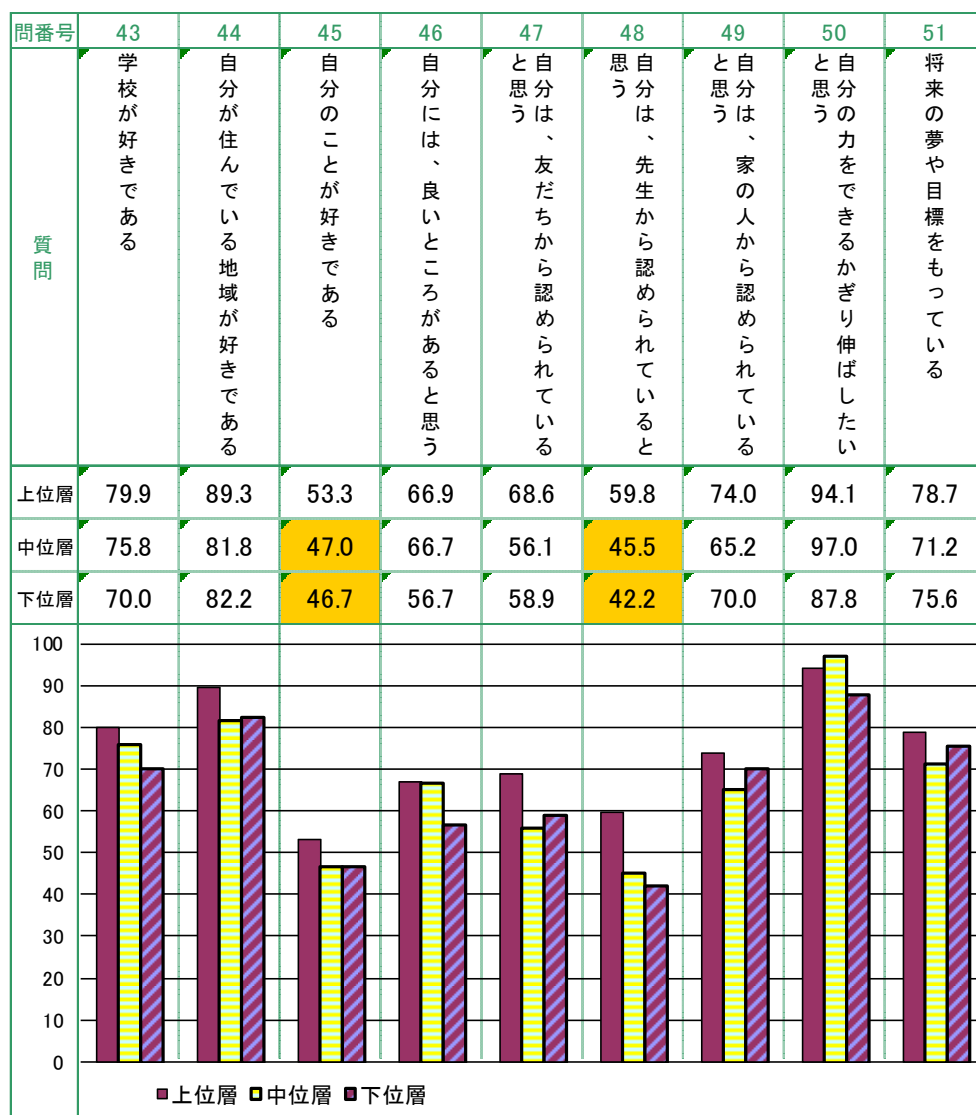
将来の夢や目標をもっている

	1 とてもあてはまる	2 まああてはまる	3 あまりあてはまらない	4 まったくあてはまらない	その他	
全国	45.9	26.1	18.1	9.6	0.3	
猪名川町	52.9	23.5	15.3	8.3	0.0	



○「将来の夢や目標をもっている」と答えた生徒が、76.4%（昨年 80.9%）と全国平均より高く、向上心があり、生き生きと活動していることがうかがえます。

■発展質問回答状況とクロス集計



○上表は自己肯定感や郷土愛など、生活習慣等基本質問以外の質問と学力との相関クロス集計です。

上位層の生徒が肯定的に回答しており、下位層の生徒と比べて肯定率が高いことが分かります。

- ・「学校が好き」と回答した上位層 79.9%の方が、下位層より 9.9ポイント高い。
- ・「先生から認められている」と回答した上位層 59.8%の方が、下位層より 17.6ポイント高い。
- ・「家の人から認められている」と回答した上位層 74.0%の方が、下位層より 4.0ポイント高い。
- ・「自分の事が好き」と回答した上位層 53.3%の方が、下位層より 6.6ポイント高い。
- ・「猪名川町が好き」と回答した上位層 89.3%の方が、下位層より 7.1ポイント高い。

☆上位層・下位層の区別なく、ほとんどすべての生徒が、向上心や将来の目標をもっています。明るく希望に満ちた学校生活を送るため、「認め」「認められる」関係を築き、自己有用感をもつことができるような学級環境をつくることが大切です。

■学習活動調査（国語・数学・英語）

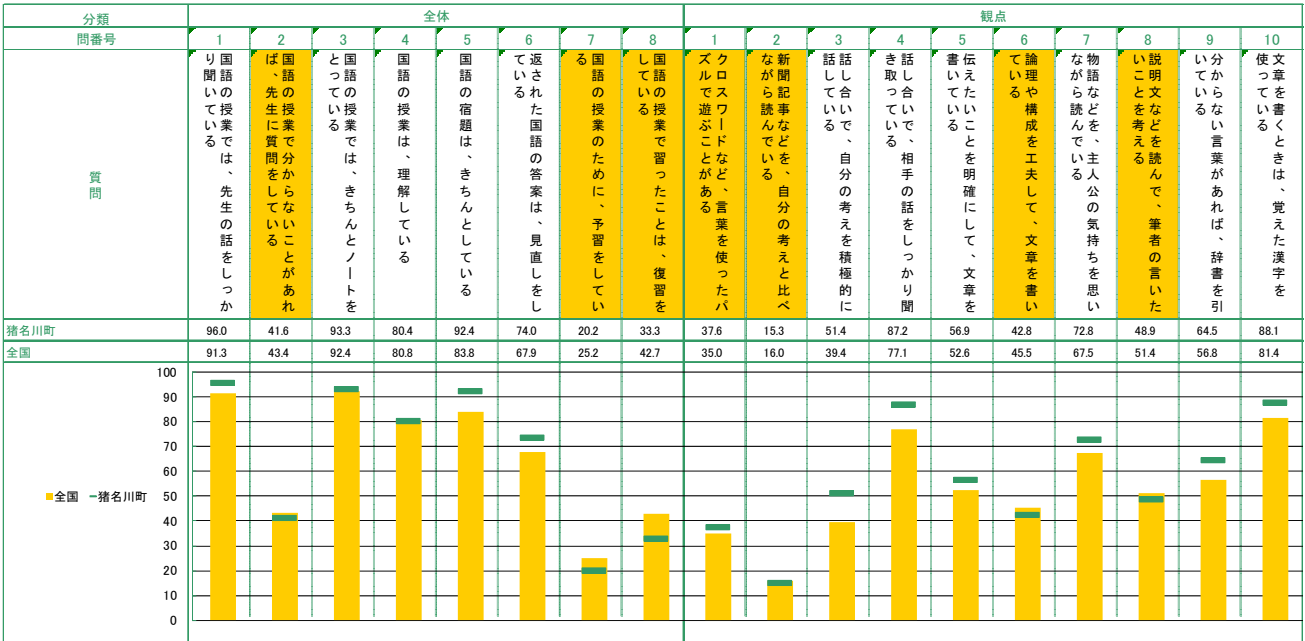
【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(国語)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年



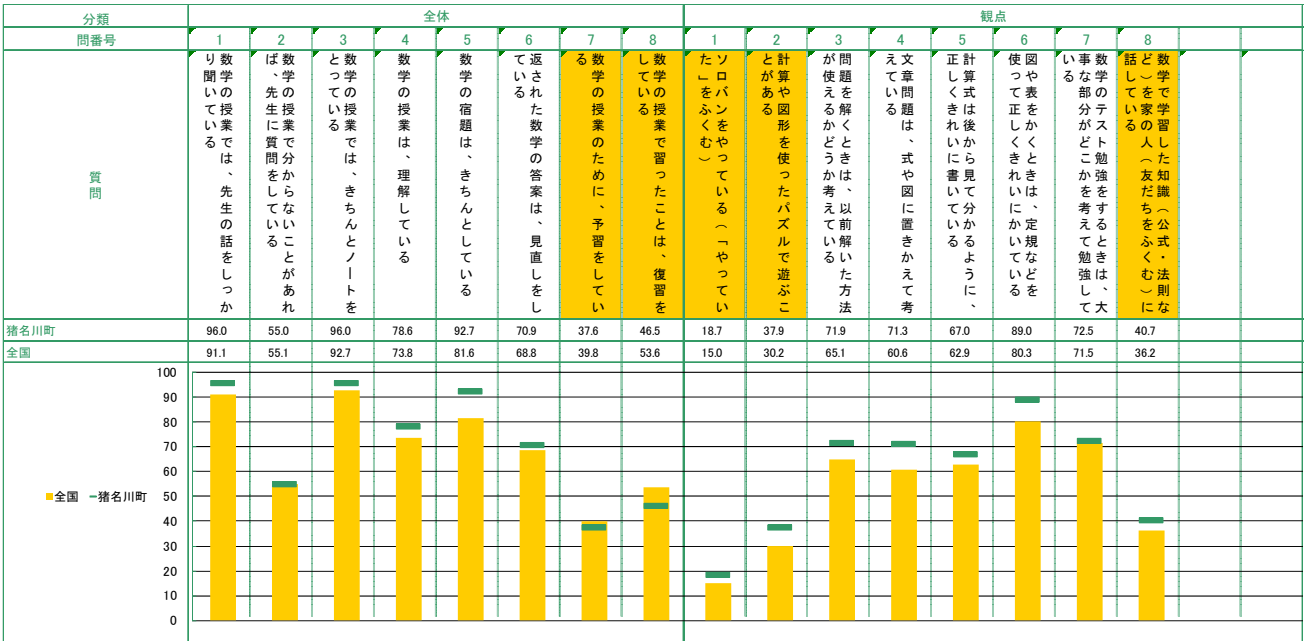
【標準学力調査対応】

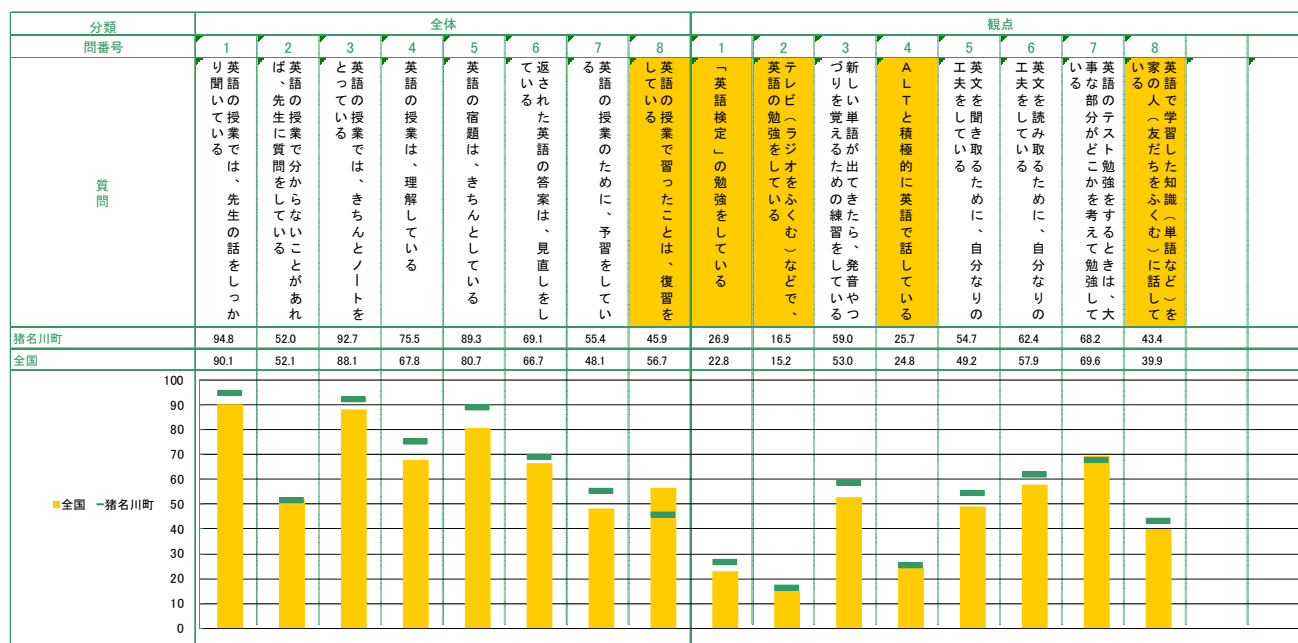
生活行動・学習活動調査

中学校2年
学習活動(数学)

学年・回答傾向

猪名川町教育委員会
第2学年





○国語・数学・英語ともに学習活動状況は、全国平均から見ても非常に良好です。「国語・数学・英語の授業で先生の話をしっかり聞いている」の回答は、3教科とも肯定率 95%前後と、授業態度がしっかりとしていることがうかがえます。また、3教科とも「授業ではきちんとノートをとっている」も 90%以上と、ほとんどの生徒が実行しており良好です。

○全教科「宿題はきちんとしている」も、全国平均よりはるかに高い肯定率です。

○「授業は理解している」は、数学と英語に関しては全国平均を上回っています。

○英語は「授業のために、予習をしている」が 55.4%と全国平均より高くなっていますが、国語・数学は全国平均を大幅に下回っています。積極的な学習への取り組みが必要です。

○国語・数学・英語ともに「授業で習ったことは、復習をしている」と肯定的に回答した生徒が全国平均を大幅に下回っていて、改善する必要があります。

※宿題はしていますが、それ以外に予習・復習の習慣をつけることが課題です。

■学習活動調査クロス集計（国語・数学・英語）

【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

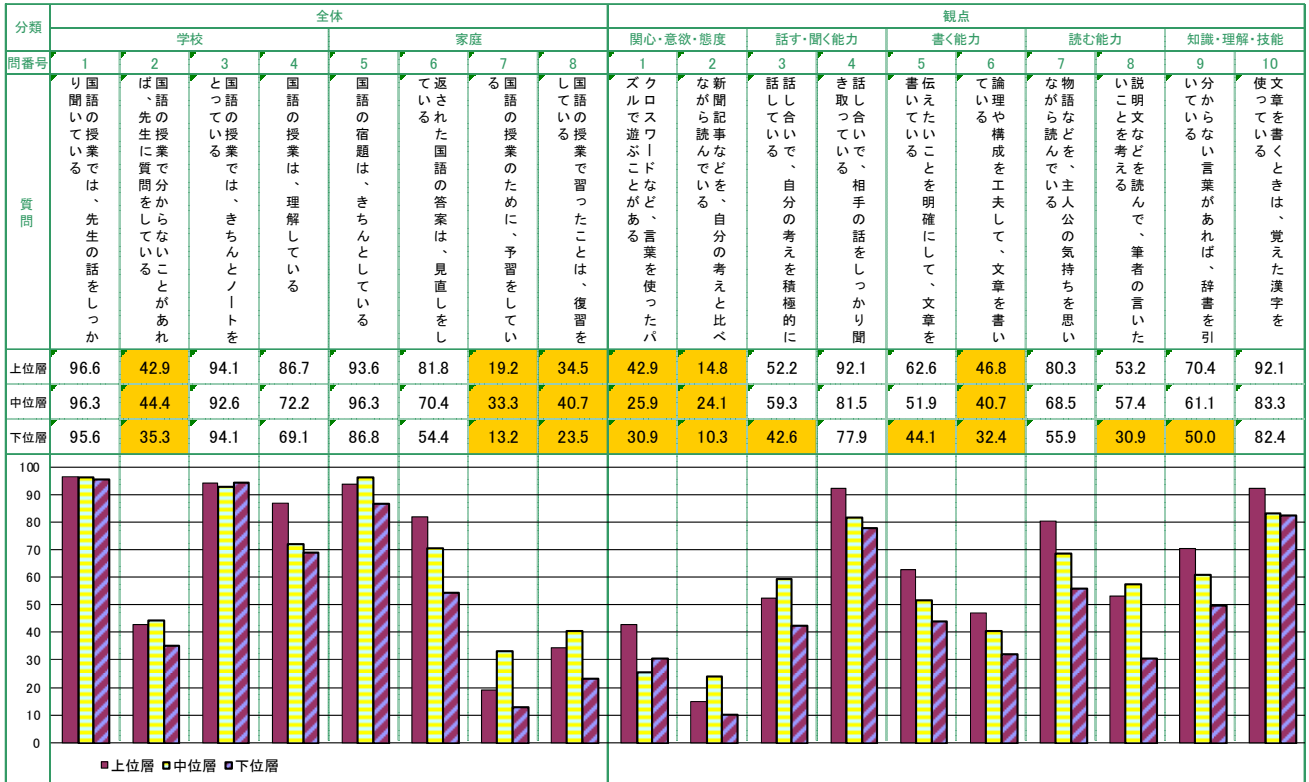
中学校2年

学習活動(国語)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年



【標準学力調査対応】

生活行動・学習活動調査

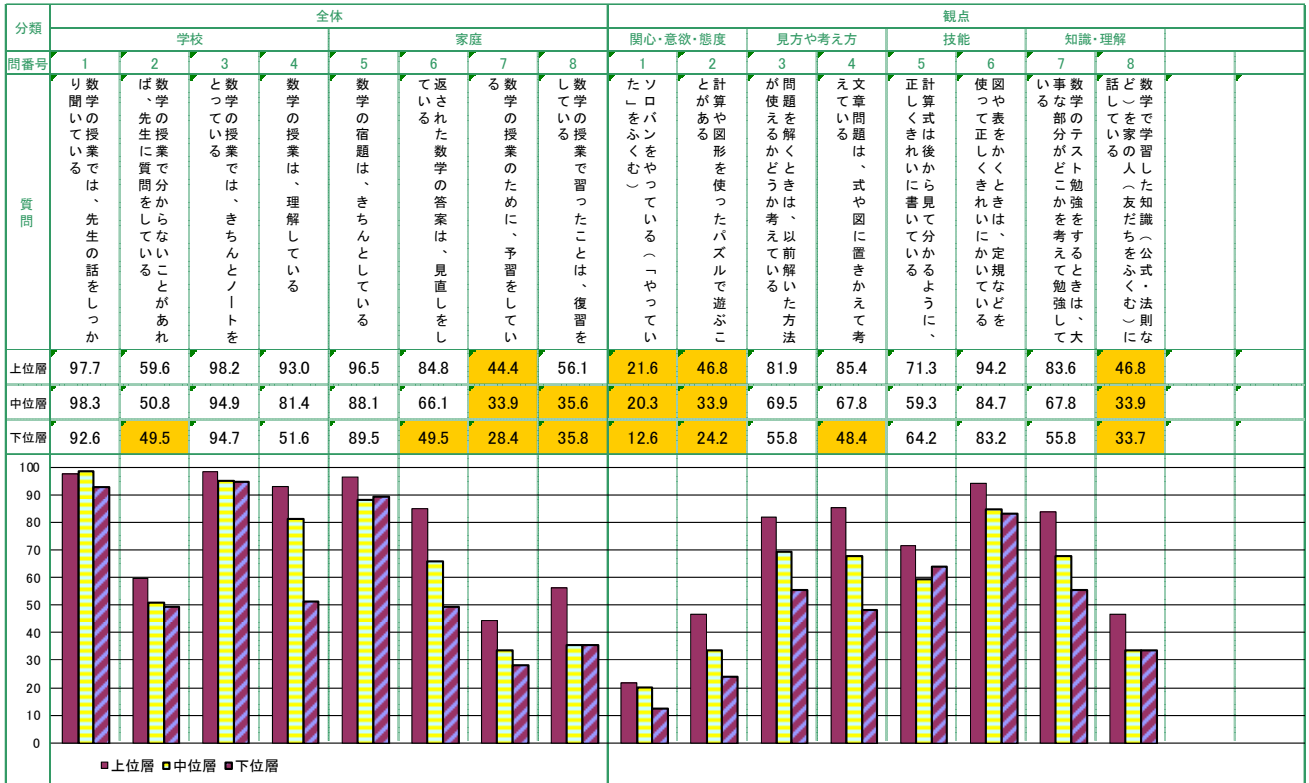
中学校2年

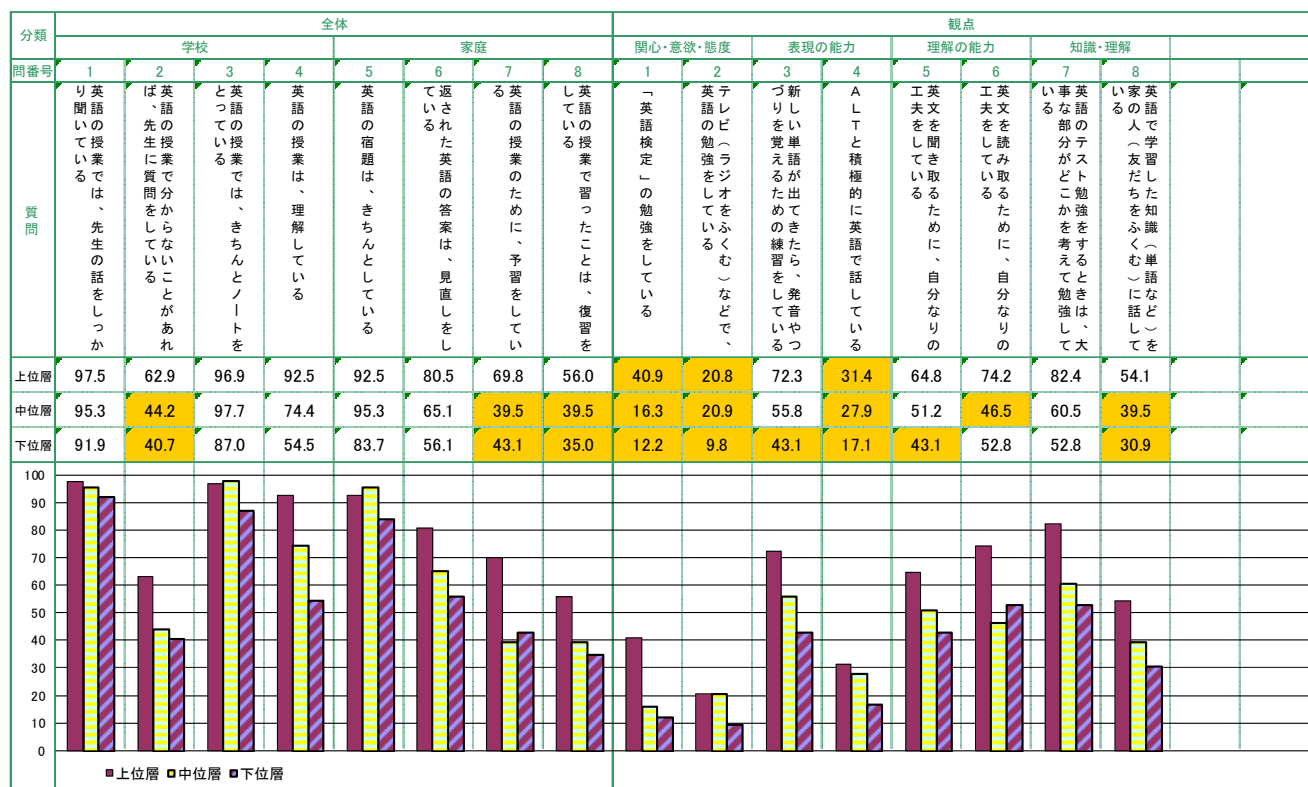
学習活動(数学)

学年・学習3階層回答傾向

猪名川町教育委員会

第2学年





○「国語」の学習活動で15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・ 関心・意欲・態度＝クロスワードなど、言葉を使ったパズルで遊ぶことがある。
- ・ 話す・聞く能力＝話し合いで、相手の話をしっかりと聞き取っている。
- ・ 書く能力＝伝えたいことを明確にして、文章を書いている。

論理や構成を工夫して、文章を書いている。

- ・ 読む能力＝物語などを、主人公の気持ちを思いながら読んでいる。

説明文などを読んで、筆者の言いたいことを考える。

- ・ 知識・理解・技能＝わからない言葉があれば、辞書を引いている。

○「数学」の学習活動で15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・ 関心・意欲・態度＝計算や図形を使ったパズルで遊ぶことがある。
- ・ 見方や考え方＝問題を解くときは、以前解いた方法が使えるかどうか考えている。

文章問題は、式や図に置きかえて考えている。

- ・ 技能＝図や表を描くときは、定規などを使って正しくきれいに描いている。
- ・ 知識・理解＝数学のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している。

○「英語」の学習活動で15ポイント以上の格差があった観点項目

- ・ 関心・意欲・態度＝「英語検定」の勉強をしている。

テレビ(ラジオを含む)などで、英語の勉強をしている。

- ・ 表現の能力＝新しい単語が出てきたら、発音やつづりを覚えるための練習をしている。

A L T と積極的に英語で話している。

- ・ 理解の能力＝英文を聞き取るために、自分なりの工夫をしている。
英文を読み取るために、自分なりの工夫をしている。
- ・ 知識・理解＝英語のテスト勉強をするときは、大事な部分がどこかを考えて勉強している
英語で学習した知識（単語など）を家の人（友だちをふくむ）に話している。

☆国語・数学・英語ともに上位層・下位層とも、「先生の話をしっかり聞いている」「きちんとノートをとっている」は肯定率が高く、良好な授業態度がうかがえます。

しかし、「授業は理解している」では、上位層と下位層で大きな格差が見られます。

国語＝17.6（昨年 21.6 ポイント） 数学＝41.4（昨年 24.3 ポイント） 英語＝38.0（昨年 45.2 ポイント）と格差がある。特に数学の肯定率で格差が広がっています。授業はしっかりと聞いているように思われますが、実際には下位層で理解していない生徒が多くなっています。下位層の生徒も分かる授業の工夫が必要です。

☆「返された答案の見直しをしている」も上位層と下位層では大きな格差が見られます。

国語＝27.4（昨年 12.8 ポイント） 数学＝35.3（昨年 25.9 ポイント） 英語＝24.4（昨年 29.2 ポイント）。

これは、復習をしているかどうかにもつながってくるので、家庭学習についての改善をしていく必要があります。